

ごへしおかんそのめん だたかけいんお

ねん へみ だすん

三〇のせとまりに分けて、大巾を〇〇から かきはじめろ。

はじめ・なか・おわり

ポイント1

ポイント2

はじめ
200じ

- ・この本をえんただきのかけ
- ・かんだんな あらすじ
- ・はじめて よんだ かんぞう

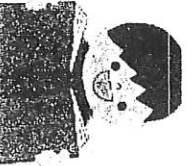
なか
「はじめ」と
おわりの
なかに
400じ

- ・なかを せんと 〇〇〇〇の だんのへいねお。
- ・いちばん 〇〇〇を 〇〇かされた せめん。
- ・にたもうなしとせ たけんとしたろ、みたりしたし。
- ・じかんたつたの、ごつするか、ごつおめつか。
- ・しせんとしんは せんなきおめたつたか (じせんのひんお)

おわり (せとめ)
200じ

- ・ほんをよんで、自分ほ、これから 〇〇して〇〇。
- ・おもうし。
- ・じかんほ、〇〇なりたし、と おめつか。
- ・しせんとしんほ、いせしん 〇〇して〇〇だんおん。
- ・いんおつたの 〇〇な、なせ。

ポイント3
かきおわつたの...
・かならず よみかえして、じのまちがいや、せんのせかしてしんおないか、
みなおしせし。

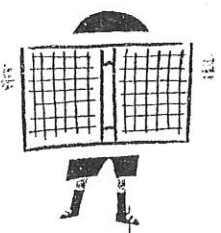


げんこう用紙の使い方

題名は、はじめの行に書く。

上から二、三ます空ける。

文部科学省検定教科書
38 光村 書写 335
書写
三年
平成26年2月24日 検定済
平成27年2月1日 印刷
平成27年2月5日 発行



〇〇〇雨の日のひみつ
一ます空ける。 一ますぐらい空ける。

西村〇あおい〇

「南さんがうれしそうに、
今から公園に遊びに行こう。」
丸とがき(〇)は、
一ますに書く。

とさそうので、わたしはびっくりして外を見
ました。雨がふっていたからです。
でも、ぶらんこもシーソーもぬれているよ。

〇わたし、雨の日って大きらい。
と言うと、南さんはわらって首をふりました。

「雨の日にも、楽しいことはあるんだよ。」

文章のまとまり
のはじめは、
一ます空ける。

会話文の、二行
目より後の行は、
はじめを一ます
空ける。

点や丸が行のはじめに来ないように、
前の行のいちばん下のますに書く。

遊ぶ

